

3年目

こんにちは!協力隊3年目の藤島瑞恵です。

初めて粘土に触った1年目の5月に比べると、お世話になっている流紋焼にてできる作業が増えていることにびっくりします。牛歩ではありますが、自分の成長を感じることができてうれしいです。

去年は畑の一部をお借りして野菜づくりにも挑戦しました。自分で作ったものをいただくことの幸福はもちろんですが、業務終わりに30分程度の水やりや雑草抜きなど、室内にいたことが多く私にとって良いリフレッシュの時間となりました。

器づくりで土に触れ、野菜作りで土に触れ、そして土からできる物を食べ、土に生かされていることを感じます。

お世話になっている流紋焼の皆様、関わってくださる方に感謝にも感謝の日々です。

独立立ち、土から芽が出ることを目指し、引き続き精進してまいります。



▲借りた畑で育てた野菜

今月の協力隊

ふじしま みずえ
藤島 瑞恵

▼最近の悩み
育てる野菜検討中!!

▼好物
風とロック芋煮会



せと市のお知らせ

今年からせと市は例年の暑さの影響から安全面を考慮して8月第1日曜日ではなく、6月第2日曜日開催となりました。そして、旧本郷第一小学校跡地から瀬戸町通りに戻ってきます。

「会津本郷せと市」は、明治の後期に会津の高野山といわれる、会津若松市河東町冬木沢の八葉寺の例祭に参拝する方々のお土産として会津本郷焼各窯元の弟子たちが、道路におしろを敷いて商品を安価で販売したのが始まりといわれています。

明かりが少ない夜、品物の傷が見えづらいことをよいことに、修行で作ったものを販売したそうです。

朝4時から、スマホのライトや懐中電灯を照らしながらお店を回る光景は、他の陶磁器市では見ることはできません。この会津本郷せと市の魅力だと思います。

会津美里町に来て3回目のせと市ですが、瀬戸町通りでの出店は初めてなので、改めて、歴史を感じながら楽しんで出店したいです。

今まで、平皿のみでしたが、今年はカップも売ることができそうです。せと市の品物づくりも頑張ります。

また、前職はショップ店員をしていたこともあり、ディスプレイを考えたり接客は得意で、販売の場面では前職が活かされていると感じます。ディスプレイにも注目していただけたら嬉しいです。

6月14日の日曜日、瀬戸町通りでお待ちしております。



▲3月7日・地域おこし協力隊の活動報告会の展示